



社労士のつぶやき 56 外国人、女性、高齢者

兵庫労働局が発表した18年3月の県内の有効求人倍率は1.38倍になっています。全国の1.54倍よりも低いものの、「改善が進んでいる」（労働局）という判断に疑う余地はないでしょう。正社員に限っても、求人55,898件に対し求職51,132件で1.09倍となっており、パートに至っては1.71倍に達しています。失業率も2.7%（全国）で、17年度は年間を通じて2%台という「完全雇用状態」に達したと言われています。

が、これはリーマンショックなどで就職難に苦しんだ人々にとって朗報で、企業にはアベノミクスや外国人観光客のインバウンド効果による景気回復による嬉しい悲鳴だ、と単純に喜んでばかりはいられません。何よりも第一には人口減による労働者不足です。そして次に過労死防止のため一人が長時間働くのではなく、より多くの人間が分担して働くようになる社会の到来です。「働き方改革」はその象徴です。しかし、それだけでなく、より深刻な問題は、「改善が進んでいる」はずの求人倍率の中身に表れています。建設躯体工事の求人倍率は、分類別では最高値の12.6倍で、建設業全体では5.25倍の高さです。一方で事務的業は0.44倍にすぎません。警備業などの保安の職業が5.94倍、医療技術者が4.23倍です。販売の職業も4.58倍と高い。中でも福祉関係は最悪です。正社員の募集賃金は公務員など管理的職業の27万7千円と比べると圧倒的に低い15万円にもかかわらず、5.17倍という高倍率に苦しんでいます。「キツイ仕事なのに低賃金」の代表です。

これらの倍率は、東京オリンピックが終わって建設ブームが本当に無くなってしまわない限り低くならないでしょう。今後、機械化とAIが進み、海外に生産拠点を移しやすい大手製造業は生き残っていくかもしれません。しかし、日本でビルや道路を造る建設業や、高齢者を相手とする福祉系、飲食・販売のサービス業など国内向けの産業は、求人難により一層拍車がかかりそうです。

新たな求人市場は外国人、主婦、高齢者です。そうだ、早く対策を・・・と思いがちですが、皆さんは焦る必要はありません。中小零細こそ、このあたりの分野が得意なのです。私は神戸・長田の中小零細が多いケミカルシューズ業界と関わることが多いのですが、この産業こそ外国人、主婦、高齢者の宝庫です。警備業などもそうですし、大なり小なり皆さんも同じことが言えるでしょう。60歳定年で、女性を結婚や出産で退職させる大企業は身動きできず、ノウハウを持っていません。私たちが考えるべきは、給料、柔軟な働き方などをどやってアピールして外国人、主婦、高齢者を集めるか、だと言えるでしょう。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2018年4月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	132円
ハイオク	142円
軽油	112円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	137円
ハイオク	147円
軽油	115円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	出光・ENEOS・COSMO	宇佐美	鈴与 (ENEOSウイング)
レギュラー	130.9~132.9円	130.9~132.9円	130.9~132.9円
ハイオク	140.9~142.9円	140.9~142.9円	140.9~142.9円
軽油	111.5~113.5円	111.5~113.5円	111.5~113.5円

【価格は税抜】